

【能代市消防団条例の一部改正】新たに制度を導入する機能別団員は、基本団員を退職した人や勤務地が能代市の人を主に対象としている。OBの人は基本的に以前所属した分団としている。

また、報酬については、昼間の火災や大規模災害等の特定の任務に従事することから、活動時間を基本団員の3分の1とし、報酬も3分の1としている。衣服等については活動服のみの貸与を予定している。

現在団員数は752人で、充足率は88・5%である。制度導入により、充足率を90%以上にした

【アーケード撤去事業負担金を計上した経緯と市が解体撤去する理由やその法的根拠及び費用負担のあり方】平成18年に各商店会からアーケード撤去費用の助成要望があり、2分の1を市が助成している。本予算は、その際解体されなかった中央商店会の3カ所について、県の道路占用許可が

【国民健康保険の医療費の動向】1人当たりの医療費は、平成21年、22年度は年間で見ると低い伸び率となったが、22年度後半から高い伸びで推移しており、現在も同じ状況にあることから、今後の動向を注視していく。

【虐待の相談件数及びその推移】平成22年度は虐待の相談件数が21件、前年度からの継続件数は6件、子供の障がい等に関する相談を合わせると124件になっている。何回も継続している場合もあり、延べ件数は400件以上となっている。また、20年度109件、21

24年3月31日までであることから、予算計上したものである。アーケードは寄附された市の所有物であるが、解体費用は寄附者が負担する条件となっている。ぎりぎりまで誠意を持って話し合いを進め、撤去の同意が得られた際の占用期間の若干の延長については、県と協議していきたい。(島)

総務企画委員会

文教民生委員会

委員会審査報告



【常盤中学校グラウンドの今後の対応】現場において施工状況の確認、飛砂防止のための芝生化を行う。芝については第四小、二ツ井小と同じ芝を考えているが、陸上競技場で使用している他の芝の状況も見ながら十分検討していきたい。(針金)

【豪雨災害農業用施設等復旧事業】本事業は水利組合等が行う復旧事業費40万円以上を要する災害箇所を自力復旧する場合の重機借り上げに対する補助率2分の1、上限5万円の助成と、土地改良区が行う災害復旧事業に要する設計料への2分の1の助成である。

環境産業委員会

建設委員会

【能代市浄化槽の整備に関する条例の一部改正】二ツ井地域で実施している市設置型浄化槽整備事業を能代地域の浄化槽恒久区域においても実施しようとするもので、寄附手続等は地区説明会や個人設置型で整備した方に対しては郵便で知らせ、申請書及び浄化槽が適正に管理されていることが

【放射線量測定器の購入】現在、県が使用している機器と同じものを購入する予定で、目的は放射性物質に汚染された商品等が市内に流入した場合に、市の初動態勢として

【22年度能代市水道事業会計決算の認定】決算書及び決算審査意見書をもとに審査した。給水状況は、平成22年給水人口は、水道事業は2777人減った。有収率は85・2%で、前年度より0・9ポイント増となった。県内平均より2・2ポイント上回っているが、全国類似団体平均よりは0・3ポイント下回っている。

【メジャー野菜ジャンプアップ対策事業費補助金】ナショナルブランド確立のため、県がネギ、アスパラガスの栽培に補助するもので、本市では、これまでと異なるネギの7月どりの作型確立及び普及により、作付、収量の拡大を図るものである。さらに、厳格な製品管理により、質・量の両面から市場における地位を確保していきたいと考えている。(穴山)

【アーケード撤去に関する条例の一部改正】今後の話し合いの余地は「市民とのトラブルは極力避けたいと考えており、いつでもお互いにとってよい方法を探れるよう門戸を広げて、話し合いの余地を残したい。【道路占用期間は24年3月31日であり、撤去事業費は改めて予算計上するべきでは】約4年話し合いを続けたが、関係者の考えは基本的に変わっておらず、来年3月31日までに撤去したい。関係者には撤去費用を求めることは伝えていく。(信太)